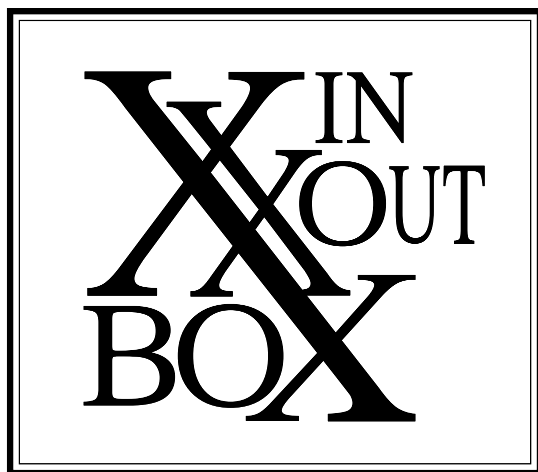


取扱説明書

使用許諾および保証と責任について

ご使用になる前に必ずお読み下さい。

[使用許諾]

・有限会社電机本舗（以下「弊社」という）はお客様に対して、このパッケージに入っているハードウェア、ソフトウェア、プログラムディスクおよびマニュアル（以下「本製品」という）を、本契約条項に従って使用することを許諾します。

[複製について]

・本製品は、全てオープンソースのLinux、GNUにより構築しています。これらはGPLの約束を守る時のみ、複製／使用できます。

[保証]

・本製品に物理的な不備があった場合には、お客様の本製品ご購入後30日以内に限り、交換を要求することができます。

[免責]

・弊社は、前条に定める場合を除き、本製品に関していかなる保証も行ないません。

・弊社は、本製品の使用に関して直接または間接に生じる一切の損害（通常損害、特別損害およびその他一切の損害）について、責任を負いません。

[使用権の消滅]

・お客様が本契約に違反した場合、または著作権法その他の法令に違反することによって 本製品の著作権およびその他の権利を侵害した場合は、上記[使用許諾]の項で許諾された使用権は自動的に消滅するものとし、お客様は直ちに本製品を弊社に返還しなければなりません。尚、返品時の送料はお客様のご負担となりますことをご了承下さい。

[その他]

・弊社は、本製品の仕様およびマニュアルの内容を予告なしに変更する場合があります。予め、ご了承下さい。

※本書に記載されている各商品名は、各メーカーの登録商標です。



本製品はGPL（GNU GENERAL PUBLIC LICENSE）憲章に沿ってX-unit内にオリジナルソースコードとともに格納しています。これらの使用または、複製はGPLに従います。

GPLGNU GENERAL PUBLIC LICENSE

http://www.gnu.org/copyleft/gpl.ja.html

そして、各開発者の皆さまへ感謝の意を表します。

GNU のウェブマスタたち

http://www.gnu.org/people/webmeisters.ja.html

http://www.gnu.org/people/people.html

― 目次 ―

第１章

構成・接続

1.1　各種確認事項

1）パッケージの中身をご確認下さい。

XIN/XOUT BOXのパッケージには、以下のものが入っています。予めご確認の上、ご利用下さい。また、不足しているものがありましたら、お手数でもユーザーサポート宛にご連絡下さいますようお願いいたします。（巻末をご参照下さい）

● XIN/XOUT BOX 本体　※1.
●取扱説明書　1冊（本書）
●ユーザー登録ハガキ　1枚　※2.

※1. 製造番号は、本書表紙に製造番号シールで記載されています。
※2. ユーザー登録は、当社ホームページ上でも行っております。恐れ入りますが、できるだけオンライン登録をご利用下さい。（巻末をご参照下さい。）
なお、処理の都合上混乱いたしますので、オンライン登録と葉書での二重登録はご遠慮下さい。

2）LAN構築に当たり、必要な機材をご確認下さい。

● HUBとLANケーブル

XIN/XOUT BOXと、各種PCとのLAN構築には、HUBとLANケーブル（EtherNet用ストレートケーブル）が必要です。XIN/XOUT BOXに接続するPCの台数分+1（XIN/XOUT BOX ）のポート数を保持するHUBとケーブルを必要数分ご用意下さい。
複数のHUBを繋いでポート数を増やす場合は、スタッカブルハブが良いでしょう。

● EtherNetポート

Windows機でEtherNetポートを有しない機種はNetwork Interface Cardを増設する必要があります。
Macintoshは一部の機種を除きEtherNetポートを標準で装備しています。

3）既存のLANの確認

現在すでにPC同士をLAN接続している場合は、IPアドレスがXIN/XOUT BOXと重複しないよう、ご確認下さい。多くの場合、各PCのIPは、DHCPを指定しています。この時は問題ありません。

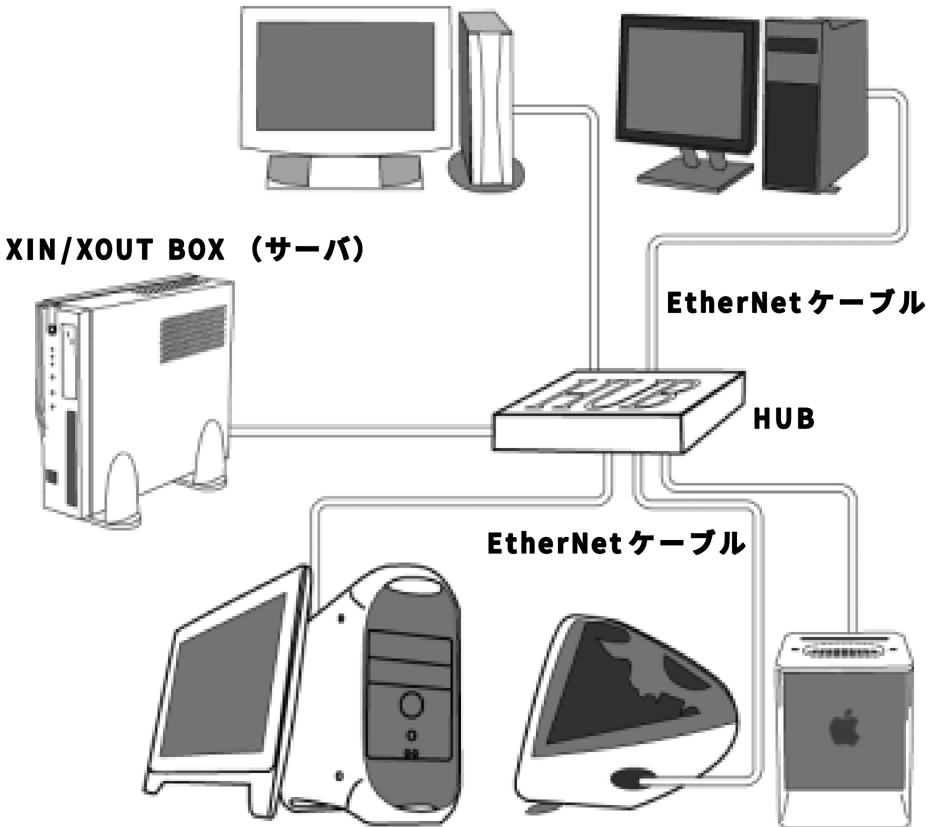
> XIN/XOUT BOX のアドレスは、
> **192.168.1.200**
> に固定されています。

1.2　接続および動作環境

XIN/XOUT BOXに接続できる各種Windowsマシンは、OSにWindows95またはWindows98を搭載し、ネットワーク環境においてTCP/IPが使えることが条件です。
XIN/XOUT BOXに接続できる各種MacintoshはTCP/IPが使えるＯＳであることが条件です。

各種Windowsマシン（クライアント）

Windows95・Windows98においてTCP/IPが使える環境であること

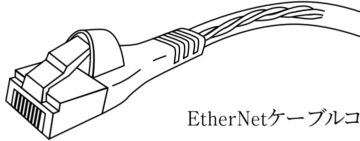


各種Macintosh（クライアント）

TCP/IPが使えるOSであること

1.3　起動・リブート/電源オフ

XIN/XOUT BOXと各PC・HUBがEtherNetケーブルで接続されていることを確認します。XIN/XOUT BOXの電源ケーブルをコンセントに差し込み、本体全面のスイッチを入れて起動します。HUBの電源も入れておきます。



EtherNetケーブルコネクタ部分

リブート／電源オフ

XIN/XOUT BOXは、原則的に24時間連続運用をします（一度起動したら、電源を落とさない）。
ここでは、XIN/XOUT BOXの調子が悪くて再起動（リブート）したい。また、電源をオフにする方法を説明します。

１）XIN/XOUT BOXに市販のPC用キーボードを接続してください。
　起動中に接続可能です。
２）キーボードより、contorolキー、altキー、deleteキーを同時に押して下さい。
３）XIN/XOUT BOXは再起動（リブート）を開始します。
４）約３０秒程すると、XIN/XOUT BOXはビーとブザーが鳴動します。
　この時電源SWを押すと完全に電源が落ちます。何もしないと再び起動します。
　ブザーの鳴動がシャットダウンが終わり再起動の合図です。

第２章

Windowsの
ネットワーク設定

2.1　ネットワークの設定

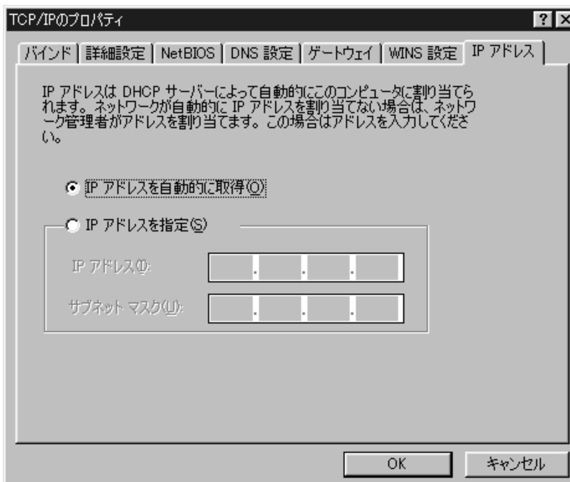
TCP/IPの設定



スタートメニューからコントロールパネルを開き、ネットワークのアイコンをダブルクリックします。

「ネットワークの設定」タグで、使用しているNetwork Interface Cardと「Microsoftネットワーククライアント」「Microsoftネットワーク共有サービス」が表示されていることを確認してください。
（無い場合は、追加ボタンを押して「クライアント」あるいは「サービス」を選び追加ボタンを押して必要なネットワークコンポーネントをインストールします）

Network Interface Cardとバインドされている TCP/IP を選択し、プロパティを押します。



プロパティの各タブの推奨値を示します。設定してください。

バインド：

　　✓　Microsoftネットワーククライアント
　　✓　Microsoftネットワーク共有サービス
　　✓　Microsoftネットワークファミリログオン

詳細設定：

　　プロパティ　　なし

NetBIOS：

　　グレイアウト

DNS 設定：

　　DNS を使わない

ゲートウェイ：

　　設定一切なし

WINS設定：

　　WINSの解決に DHCP を使う

IPアドレス：

　　IPアドレスを自動的に取得



「識別情報」タブでは、コンピュータ名、ワークグループ、コンピュータの説明のエリアにそれぞれ適切な名前を入れます。これらは任意で良いです。
コンピュータ名､ワークグループ名は半角で15文字以内で入力してください。
ＯＫボタンを押し、再起動します。

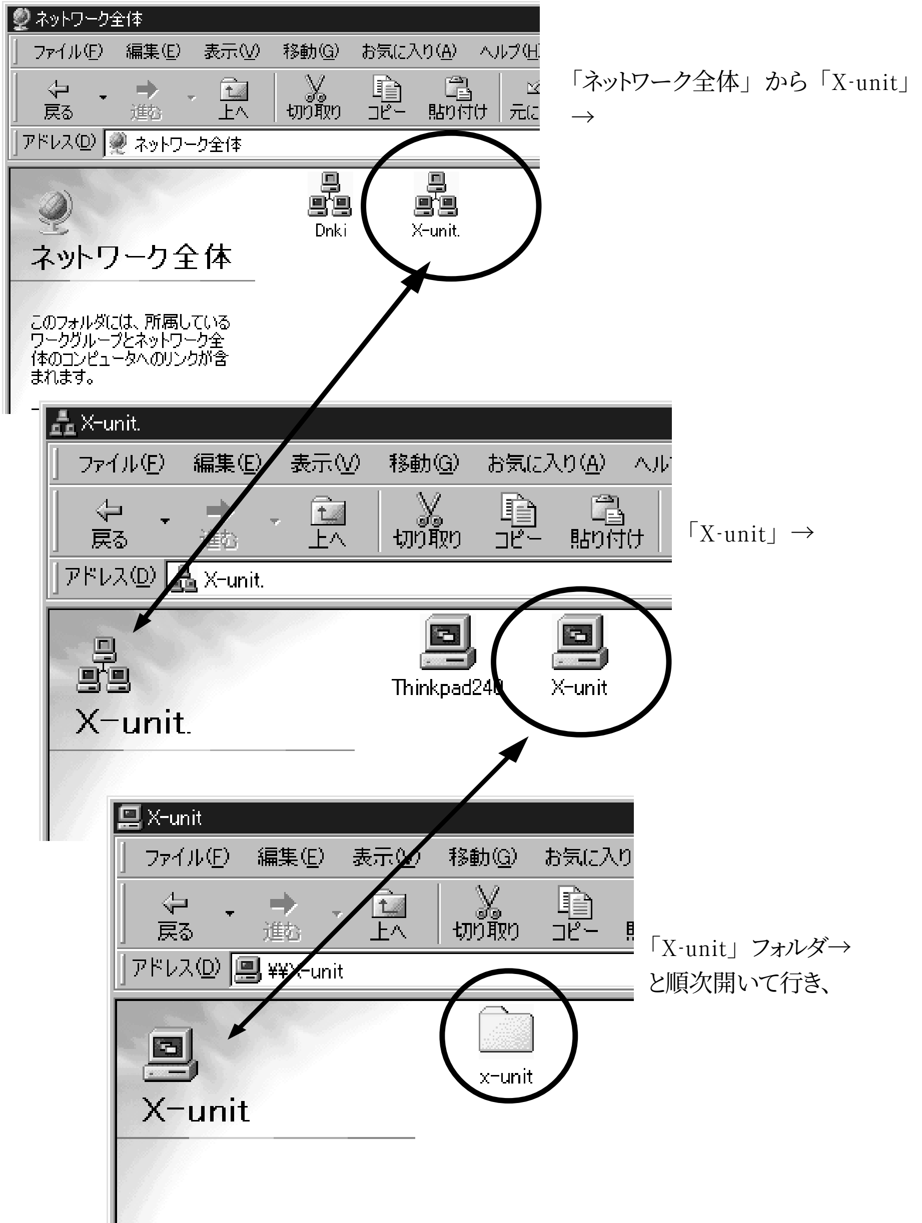
2.2　XIN/XOUT BOXの開き方



デスクトップの「ネットワークコンピュータ」をダブルクリックして開きます。

「ネットワーク全体」を開きます。

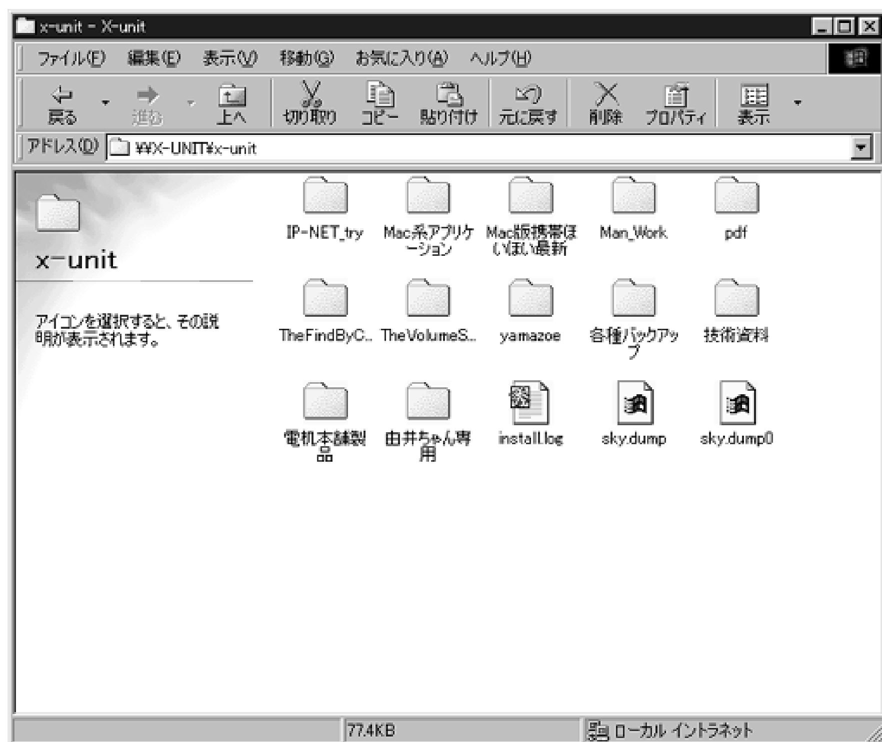




「ネットワーク全体」から「X-unit」→

「X-unit」→

「X-unit」フォルダ→
と順次開いて行き、



この状態のウィンドウへたどり着けば、あとは通常のフォルダの感覚で、書類等の保存・コピー等の操作を行います。

第３章

Macintosh の
ネットワーク設定

3.1　ネットワークの設定

AppleTalkの設定

1.Appleメニューからコントロールパネル/AppleTalkを開きます。



2.AppleTalkを切っているときは入りにするか聞いてくるので「はい」をクリック。



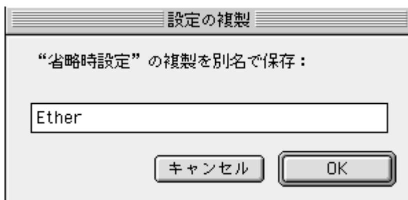
3Ethernetを使用する設定を作ります。ファイルメニューから設定を選択します。



3 何も設定していないときは、省略寺設定を選択し、複製ボタンを押します。



4.Ethernetを使用するときの名前を付け、ＯＫ。



今作ったEthernetを使用する設定を選んで「設定」 ボタンを押します。



5.経由先をEthernetにします。



6. 閉じるとき、保存するか聞いてくるので、保存します。

TCP/IPの設定

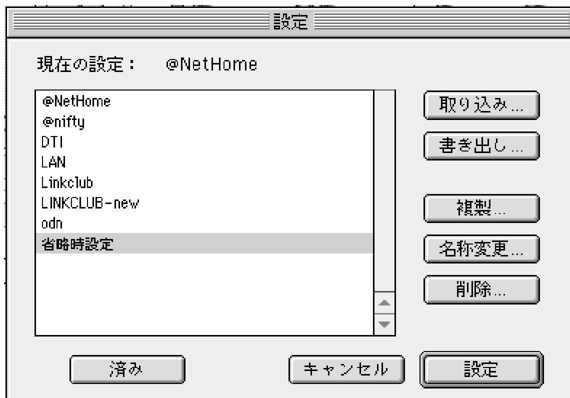


1.Appleメニューからコントロールパネル/TCP/IPを開きます。



2.TCP/IPが開いたら、ファイルから設定...を開きます。

3.省略寺設定を選択し、「複製」ボタンを押します。



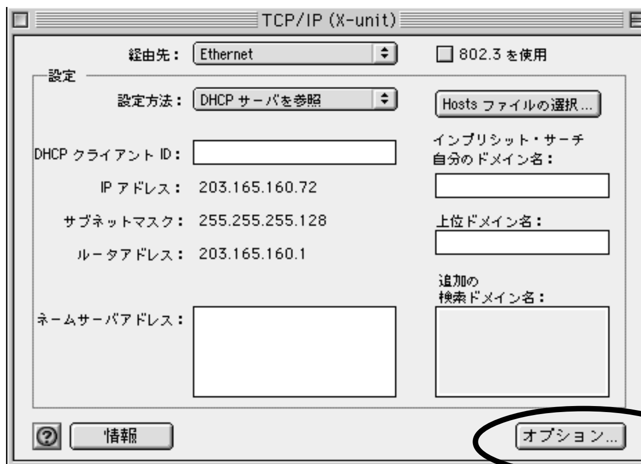


4.この設定に適当な名前を付け、ＯＫします。
既存の設定の上書きを防止するために、新しい名前（ここではX-unit）で登録しておきます。

5. 新しい名前が表示されているのを確認し、選択、「設定」ボタンを押します。



6.「経由先」をEthernet、接続方法を「DHCP サーバを参照」にします。



次に「オプション」を押します。

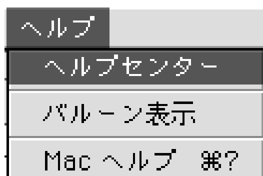
7. オプションボタンを押して出るウィンドウで、“ 入 ” のラジオボタンをオンに、「必要な時にのみロード」のチェックボックスをオフにし、ＯＫします。



8.TCP/IPのウィンドウを閉じるときに保存するか聞いてくるので、保存します。

この接続の設定に名前を付けておくと、作業環境マネージャで作業環境を切り替える際に、このTCP/ＩＰの設定を指定する時に便利です。

作業環境マネージャの使い方や、新しい作業環境の作成については、Finderのヘルプセンターをご参照下さい。



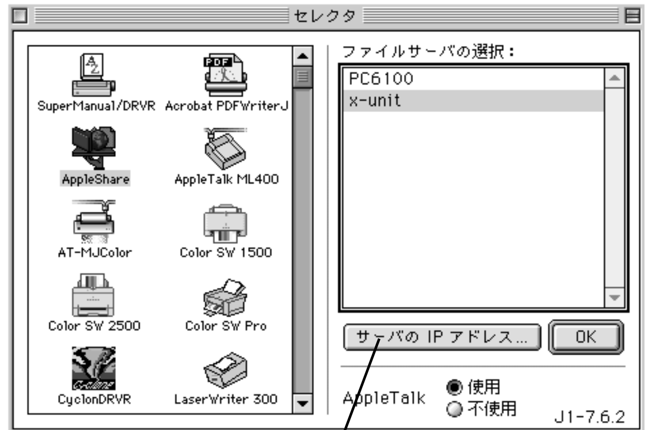


3.2　XIN/XOUT BOXの開き方

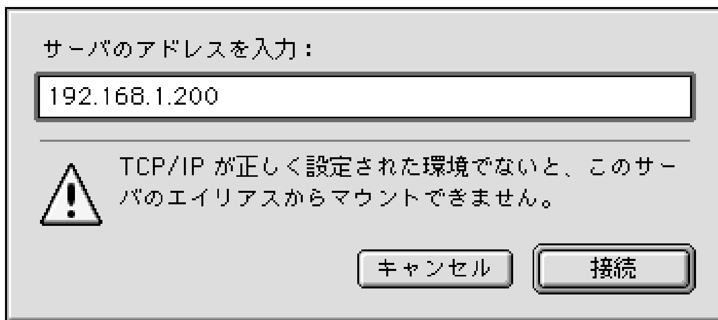
1.Appleメニューからセレクタを開きます。



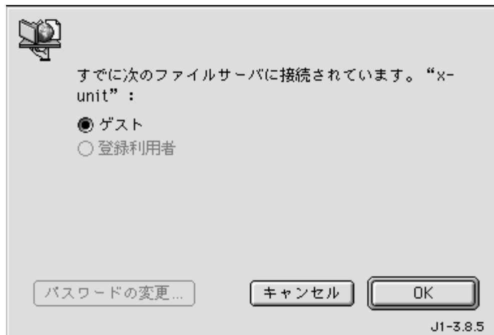
2.AppleShareを選択すると右ウィンドウにX-unitが表示されます。選択して、ＯＫします。



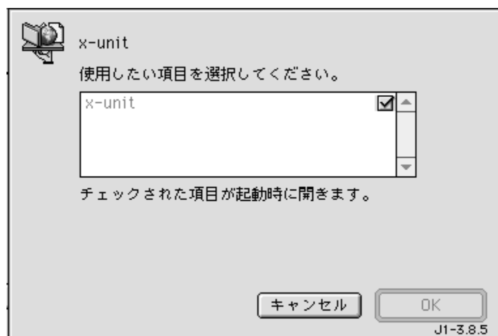
X-unitが表示されていないときは、「サーバのIPアドレス」ボタンを押し、以下のようにサーバのアドレスを入れてみます。



3.ゲストをオンにして、ＯＫします。



4.X-unitを選択し、チェックボックスをオンにし、ＯＫします。





5.デスクトップにX-unitのディスクアイコンが現れれば、接続完了です。
このアイコンをダブルクリックしてウィンドウを開き、通常のフォルダのように、書類等の保存・コピー等の操作を行います。

次回からは、Appleメニューの「最近使ったサーバ」からX-unitを選択すれば簡単にマウントできます。

第４章

Win/Mac
混在時の注意

4.1　ファイル名について

1.拡張子について

Windows95では、最初に出たピリオド以下を拡張子と判断してしまうので、例えば、「2001.3.3 ひなまつり」などとすると、3.3 ひなまつりを拡張子と思ってしまいます。表示オプションの設定に関わらず、ピリオドは一つで、その後に拡張子を付けておきましょう。

Macintosh では、拡張子の認識はありませんが、PC Exchange を使用して書類を変換する際に、拡張子を頼りにするので、やはり付けておきましょう。

拡張子に関するサイトには

http://www.jisyo.com/viewer/index.html

http://www.wakhok.ac.jp/~sumi/ext/index.html

などがありますので、ご参考になさってください。

2.ファイル名に使用できない文字

全て英数半角の ￥ ／ ; ＊ ？ ” ‹ › : は Windows では使用できません。

Macintosh では：（コロン）のみ使えないので、／（スラッシュ）など使用していると、Windows 環境では使えない書類となってしまいます。

うっかりこれらの文字を使うと、Macintosh 上では問題ないのですが、Win からファイルを見るとファイル名がぐじゃぐじゃになります。注意ください。

3.ファイル名の文字数

Windowsでは、ロングファイルネームを使用できますが、Macintoshでは半角で３１文字までしか使用できません。あまり長い名前だとMacintosh上ではファイル名が切れてしまいます。

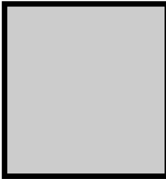
★ -- 拡張子を付ける
★ ---\ / ; * ? " < > :　の文字を使わない。
★ -- ファイル名を長くしない。

4.2　ファイル互換性について

4.2.1　Windows側でMacintoshの書類が開けない？

必ず、最初にアプリを起動し、アプリの中から、希望の文書を開くようにしてください。文書をWクリックして開くのは、OSが起動すべきアプリを自動的に探しているからです。当然、Macの文書はWinでは該当するアプリを探すことはできません。

a）　うんちくWindowsのファイル構造



ファイルの実体。Windowsのファイル管理は極めてノーマルです。一つのファイルに対して一つの実体があります。

{Win書類形式}

b）うんちくMacのファイル構造



リソースフォーク（Windowsでは解釈不可）
Macintoshではこの部分で書類形式や作成アプリケーションを確認しています。いわゆる隠れファイルと思って良い。



通常の実体、MacOSはここをデータフォークと呼んでいる（Windowsで解釈可）
データそのもの

{Macintosh書類形式}

上述で判るとうり、Macのファイルにはリソースフォークが余分に付いて来ます。WinとMacの間で互換性が取れるのは、データフォークと呼ばれる部分です。

4.2.3　テキストが文字化けする

テキストの文字化けにはいろいろな原因がありますが、ここでは、機種依存文字による文字化けと、改行コードによる文字化けの説明をします。

1. 機種依存文字による文字化け

機種依存文字とは、その名の通り、各機種（ＭＡＣやＰＣ／ＡＴ、ＰＣ-９８やＵＮＩＸなど）に依存し、互換性のない文字のことです。具体的には 新ＪＩＳ規格（ＪＩＳ Ｘ ０２０８）に規定されていない文字で、特定の環境でなければ正常に表示することは出来ません。仮に、それを他の環境で無理に表示させようとすれば、文字化けを起こして読めなくなります。

機種依存文字(非ＪＩＳ Ｘ ０２０８)の主なものは、以下のとおりです。

これらの文字を使わないようにしましょう。

Windows系機種（一部）

①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮
⑯⑰⑱⑲⑳
ⅠⅡⅢⅣⅤⅥⅦⅧⅨⅩ
㍉㌔㌢㍍㌘㌧㌃㌶㍑㍗㌍㌦㌣㌫㍊㌻
㎜㎝㎞㎎㎏㏄㎡
㍻〝〟№㏍℡㊤㊥㊦㊧㊨㈱㈲㈹㍾
㍽㍼
ⅰⅱⅲⅳⅴⅵⅶⅷⅸⅹ

Macintosh

①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮
⑯⑰⑱⑲⑳
⑴⑵⑶⑷⑸⑹⑺⑻⑼⑽⑾⑿⒀⒁⒂
⒃⒄⒅⒆⒇
❶❷❸❹❺❻❼❽❾
0. 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9.
ⅠⅡⅢⅣⅤⅥⅦⅧⅨⅩⅪⅫⅩⅢⅩⅣⅩⅤ
ⅰⅱⅲⅳⅴⅵⅶⅷⅸⅹⅺⅻxiiixivxv
⒜⒝⒞⒟⒠⒡⒢⒣⒤⒥⒦⒧⒨
⒩⒪⒫⒬⒭⒮⒯⒰⒱⒲⒳⒴⒵
㎜㎟㎝㎠㎤m㎡㎥㎞㎢㎎g㎏
㏄㎖㎗ℓ㎘㎳㎲㎱㎰°F㎔㏋㎐
㎅㎆㎇TB№㏍℡FAX

♤♧♡◇♠♣♥♦〒☎〄
☞☜☝☟⇄⇆↑↓↓↑⇨⇦⇧⇩➡⬅⬆⬇
㈰㈪㈫㈬㈭㈮㈯㉀㈷㉂㉃㈹
㈺㈱㈾㈴㈲㈻㈶㈳㈵㉁㈼㈿㈸
㊤㊥㊦㊧㊨㊩㊖㊝㊘㊞㊙
㍉㌢㍍㌔㌖㌅㌳㍎㌃㌶㌘㌕㌧㍑㍊
㍗㌍㌔㌣㌦㌻㌫㌀㌱㌈㌋㌥
㍾㍽㍼[illegible]
§∟⊿〝〟ヷヸヹヺ
[illegible]

2. 改行コードの違いによる文字化け

改行コードは、OSによって違います。この差が改行した行末で文字化けします。

Macintosh-->ＣＲ

Windows -->ＣＲ+ＬＦ

UNIX -->ＬＦ

また、漢字コードの違いでは、行末どころではなくほとんど全文が文字化けします。

漢字コードは、Windows・Macintoshともshift-JISですがこれに加え、EUC、NEC-JIS、ACOS、CIS-JIS、Unicode、UTF8があります。

これらを正しく読むには、適応したエディタを使うのが良いでしょう。

●Macintoshで他の形式を読むにはJeditが便利です。

改行コードだけでなく漢字コードの変換もしてくれます。



●Windowsで他の形式を読むには秀丸エディタが便利です。

いろいろな文字コードSHIFT-JIS, EUC, JIS, Unicodeをサポートしています。



上記の他にもオンラインでいろいろなTOOLが配布されています。

★ - 基本的には、使用するプラットフォームに対応した、同じアプリケーションを使用して、書類の交換をするのが望ましいですね。

★ - 手持ちのアプリケーションが、どんな形式の書類を扱えるか……くらいは、知って置いた方が良いでしょう。

4.3　バックアップについて

XIN/XOUT BOX に書類を保存しておくと、繋がっているどのPCからでも、いつでも取り出せるので、ついつい、貯め込んでしまいます。サーバのHDも、クライアントのHDも、同じハードディスクだと言うことを思い出せば、いつクラッシュしてもおかしくない……ということに気づかれるでしょう。

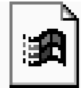
また、誰でも取り出せるということは、誰でも上書きしてしまえるということでもあります。（これは、スケジュール管理のケースなどでは、とても便利です……）

上書きされたくない書類などは、手元のHDにもコピーを置いておくべきです。

また、サーバの中の書類も、リムーバブルディスクや、他の外付HDなどに、定期的にバックアップをしておきましょう。
XIN/XOUT BOX のHDがクラッシュしたときは、メンテナンスを承りますが、中身のデータの復旧まではできません。

※５章で説明しているSky Boardについては、データのみをバックアップした書類（sky.dump）があれば、復旧できます。これを定期的に外部記憶装置にバックアップしておいてください。

sky.dump は、x-unit.infoという管理フォルダの中に毎日自動バックアップしています。



sky.dump

★ - 作業中の保存・新規保存はパブロフの犬のように……
★ - 失いたくないデータは、ＬＡＮ以外の所にバックアップする！
★ - バックアップは、複数の場所に！
★ - XIN/XOUT BOX60を使用するのが安心です。
（ハードディスク２連装で信頼できるバックアップ）

第５章

Sky Board

5.1　グループウェアについて

標準でSkyBoardというグループウェアをインストール済みです。これは、株式会社トップマネジメントサービス様が Internet 上で無料配布しているソフトウェアです。

オープンソースのフリーウェアとして割り切って使用する場合は SkyBoard は優れています。

しかし、有料を前提にしてクオリティの高いサービスを希望する場合は専用の商用パッケージが出ています。

用途に合わせて選択、利用して下さい。

サイボウズ Office

サイボウズ株式会社

http://cybozu.co.jp/index.html

ユーザー数 10--- ￥79,800

iOfficeV3

株式会社ネオジャパン

http://www.neo.co.jp/ioffice/ 価格例（税別）

ユーザー数 5---------　￥ 39,800

注意！

SkyBoadはフリーウェアです。開発元のトップマネジメントおよび、弊社は一切のサポートはしません。

5.2　SkyBoardについて

SkyBoardを使いこなすことで、小規模会社内での各種データを共用でき、煩雑になりがちな日常雑務を簡便にこなすことができます。

たとえば、ある取引先会社の担当者が配置替えになって、電話や住所が変更になったことを、社員Ａは知っているが、社員Ｂは連絡を受けていなかったと言う場合、ＡがSky Boardに書き込んで置くことでＢが連絡を取る際に、最新の情報を得ることができ、いちいちＡに聞いたり、相手の会社に問い合わせるといった無駄な手間を減らすことができます。

また、会社を留守にする際にも、複数の社員に挨拶してから帰社時間をボードの書き込んだり、また、別な社員が彼を探す際に、同僚に質問したり、ボードを確認したりといったこともなくなります。

製品概要

グループウェアの標準機能として、「スケジュール」「ホワイトボード」「施設予約」「電話連絡メモ」「営業履歴管理」など、実際の社内業務で要求される様々な場面で対応できる機能を標準で搭載しています。また、NTT DoCoMoのｉモードに対応し、必要な情報は携帯電話からも閲覧する事ができます。

　さらに、ネットワークに詳しい管理者以外の、経営者のような方でも運用管理ができるように、機能の追加、削除、ユーザ管理、ログ管理などをブラウザから行う事が出来ます。よって、構築が完了すれば、システム管理者が不在の企業でも導入する事が出来ます。

改変・拡張自由

業務システムに合った情報システムの導入。それは多くの時間と開発費用を必要としてきました。Sky Boardはお仕着せのグループウェアではありません。ソースの公開により、お客様に合ったカスタマイズで、自由にシステムの構築を行うことができます。

クライアントはブラウザを使用

システムに詳しくない人でも安心です。Internet ExplorerやNetscape などの Webブラウザをクライアントに使用する事で、分かりやすいアイコンとシンプルなメニューで、視覚的にも機能が理解できる使いやすさを提供しています。また、管理もブラウザ上から行う事が出来ます。クライアントにプログラムをインストールすることなく利用できますので、TCOの削減に繋がります。

Sky Board機能紹介

SkyBoard では、以下の機能があります。

WebMail、連絡メモ、ホワイトボード、会社スケジュール、出勤予定、個人情報閲覧、掲示板、電子会議室、営業日報、週報、施設予約、取引先・担当者情報管理、当番表、ワークフロー、資料集、Q&A、TIPS、アドレス帳、回覧板、スケジュール、プロジェクト進捗管理

これらの機能のうち、例として下記の機能をご紹介します。

- 5-3-1 個人情報閲覧
- 5-3-2 会社スケジュール
- 5-3-3 ホワイトボード
- 5-3-4 電話連絡メモ
- 5-3-5 掲示板
- 5-3-6 電子会議室

動作確認をしているブラウザ

Netscape Communicator 4.5、

InternetExplorer 4.01/5、

NTTDoCoMo D502i

※一覧は全ての機能の動作を保証するものではありません。

サポート

フリーウェアですので一切のサポートはありません。

5.3　各機能の解説

SkyBoadの起動は簡単です。お使いのブラウザより、次のURLで接続してください。末尾の index.htmlを必ず入力のこと。

URL　http://192.168.1.200/skyboard/index.html

5-3-1 個人情報閲覧

■一覧を見る

Sky Board の「個人情報閲覧」をクリックすると、社員名、内線番号、自宅の電話番号、携帯電話の番号が表示されます。（既に個人情報が入力されているもののみ表示されます。）

閲覧するブラウザが mailto に対応している場合は、名前をクリックすると、メーラーが起動します。



■住所を表示する

「住所も表示」ボタンをクリックすると、社員の住所も追加表示されます。

入力したデータが変更になったその都度、Sky Board 上で編集しておけば、常に新しいデータを閲覧できるので、いちいち各人にお知らせをする手間も省けます。

5-3-2 会社スケジュール



この機能を使うと、カレンダーにメモを書き込む感覚で、イベントを周知することができますし、いちいち社員がカレンダーの所まで歩いていって確認すると言う必要もなくなります。

■スケジュールを表示

Sky Board のメニュー画面から「会社スケジュール」を選択します。

今日から、一ヶ月間のスケジュールが表示されます。

条件指定による抽出

条件を指定して表示することが出来ますので、必要な内容のみを比較できます。

●日付期間による抽出

●部門による抽出

●業務カテゴリーによる抽出

■スケジュールを入力

テーブルの日付部分をクリックすると、スケジュールを入力するフォーム画面になります。必要な内容を入力して「送信」ボタンを押します。

GO TO TOP

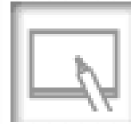
会社スケジュール Schedules of Business

2001/01/11 ～ 2001/02/10 部門＝全て 業務カテゴリ＝全て

表示

日	曜	予定	担当	部門	カテゴリ
01/11	(木)				
01/12	(金)				
01/13	(土)				
01/14	(日)				
01/15	(月)	シリアル版 219本 出荷	mori	開発	研究開発
01/16	(火)				
01/17	(水)				
01/18	(木)				
01/19	(金)				
01/20	(土)				
01/21	(日)				
01/22	(月)				
01/23	(火)				
01/24	(水)				
01/25	(木)	x-unit出荷開始		営業部	営業
01/26	(金)				
01/27	(土)				
01/28	(日)				
01/29	(月)				

5-3-3 ホワイトボード



ここには、営業職のスタッフの方などのように外出というような連絡事項を書き込みます。

■スケジュールを入力

Sky Board のメニュー画面から「ホワイトボード」を選択します。

データが入力されている場合、氏名と行き先、帰社時間が一覧できるテーブルを表示します。

管理者は、全ての社員のスケジュールを入力することができます。スケジュールを入力したい社員をリストから選択して、「登録」をクリックします。

入力フォームに、行き先、目的、時間を入力します。帰社時間は、xx:xx の形式で入力します。入力後、「送信」ボタンをクリックします。

※ホワイトボードのデータは一人につき一件のみ入力できます。新しく入力すると、以前のデータを上書きします。

GO TO TOP

ホワイトボードWhiteboard System

営業部　入力画面へ　最新情報に更新

氏名	状況	書込日時	行き先	帰社時間	編集
由井清人	在席	01/11 14:54			不在 在
森くみこ	在席	12/25 19:14			不在 在
木村としゆき	帰宅	12/25 19:15	帰社しました	10:00	不在 在
山添正規	在席	12/25 19:14			不在 在
管理用KANRI	在席	01/10 16:19			不在 在

Copyright (C) 1999-2000 Top Management Service, inc. All Rights Reserved.

http://192.168.1.200/skyboard/whiteboard-f.php3

5-3-4 電話連絡メモ



ある社員が留守中にかかってきた電話の内容をメモしておいて、あとで伝言すると言うケースは日常茶飯事でしょう。これにメモしておけば、忘れることも、無くなることもありません。当人が帰社後確認すればよいことです。

■電話連絡メモを見る

ログインボタンをクリックした際にユーザ宛の電話連絡メモがあった場合、Sky Boardのメニューに「電話がありました」と表示されます。

※ ‹BLINK› タグが有効なブラウザでは、このメッセージは点滅表示されます。

「電話がありました」の文字をクリックすると、メモを見ることができます。

また、Sky Board のメニュー画面から、電話連絡メモのアイコンをクリックしてもメモを見ることができます。（この時点でログインしていないときは、ユーザ名とパスワードを入力してください。）

読み終わり、必要なくなったメモは削除ボタンを押して削除します。メモの削除ができるのは、電話の宛先であるユーザのみとなっています。

■全社員の電話連絡メモを見る

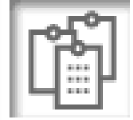
全社員の電話連絡メモを一覧を選択して、一覧を表示できます。外出先から自分宛の電話連絡メモを、会社にいる社員に見てもらうときなどは、この画面で確認してもらいます。また、モバイル環境を整えての外出先からは、WWW サーバにアクセスしさえすれば自分で確認できます。

■電話連絡メモの作成

不在のスタッフ宛の電話を受けたときは、この画面から書き込み、メモを残します。

誰からの電話で、どんな用件だったかを入力し、「書き込み」ボタンをクリックします。

5-3-5 掲示板

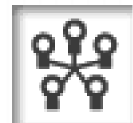


Internet上にある掲示板と同じ機能です。時間的にはゆっくりしていますが、だからこそ、冷静に会議したり、質問応答などできるのが特徴です。参照URLや、画像を貼り付けることもできますので、質疑応答の記録の場としての活用も考えられます。

■掲示板に書き込む

掲示板にアクセスする際、最初の一回だけユーザの認証をします。７の電子会議室か、この掲示板かどちらかで認証しておけばブラウザがユーザ情報をキャッシュしていますので、どちらでも有効です。（キャッシュはブラウザを終了させるまでは有効です）

5-3-6 電子会議室



いわゆるチャットです。自動リロード機能でリアルタイムにアクセスして打ち合わせができます。会社の１階と２階の社員がわざわざ席を立たなくても、打ち合わせをすることができます。

■電子会議室に発言する

掲示板同様、最初の一回だけユーザの認証をします。（先に掲示板で認証した場合は、ブラウザが情報をキャッシュしていますので不要です）

名前はデータベースから読み込まれ、発言時に自動で設定されます。

発言欄に入力したら、リターンキーを押すか、「発言／設定更新」ボタンを押してください。「退出」ボタンでメインメニューに戻ります。

※ブラウザの設定で、ログが溜まると最新の表示がされないことがあります。例えばNetscape Communicatorでは、設定→詳細→キャッシュの「キャッシュしたドキュメントとネットワーク上のドキュメントの比較」を「毎回」にしておきます。

第６章

高度な管理

6.1　自動処理について

BOX はオートバックアップ等の幾つかの設定を持っています。
例えば、SkyBoadのバックアップが該当します。

BOX には２系統の自動処理機構を持っています。

■定時指定の固定処理

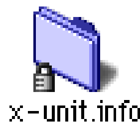
Linuxには cronという名前のタイマー管理ソフトがあります。
BOX はこれを使用して各種自動処理を行っています。

- 00:00:00　SkyBoardが生成する中間ファイルを削除
  SkyBoardデータのバックアップ sky.dump 生成
- 01:00:00　sky.dump を Win,Macからアクセスできるよう属性変更

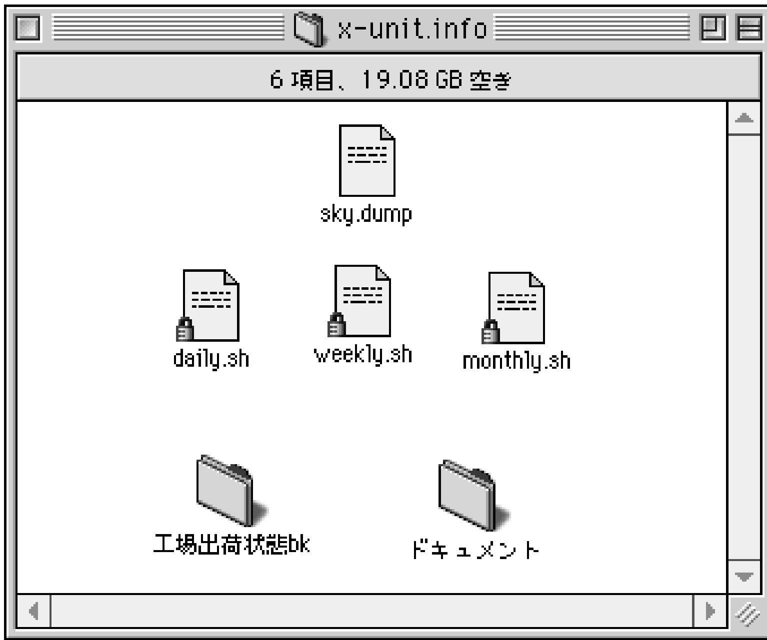
上述の自動処理は、その時間にもし BOX が動いていない時には当然実行されません。

■日、週の自動処理

cronの機能には、上述とは別に、毎日、毎週、毎月と指定して自動実行する機能が在ります。BOX はこれを Mac,Winから利用できます。
BOX には、x-unit.infoという制御用の特殊なフォルダがあります。
この中に、自動実行したいファイル処理を入れておくことができます。



x-unit.infoは次のようなものです。



図中、daily.sh, weekly.sh, monthly.shがそれぞれ毎日、毎週、毎月実行する自動処理ファイルです。

・これらのファイル操作は危険です。従ってロックをかけています。
・各ファイルはLinuxのbashというソフトのための自動手順が入っています。ユーザが、bashの知識を持ち変更すれば任意の自動処理を可能にします。

このファイルの操作は、自己責任により行ってください。極端な例として、ディスクの初期化すら自動指定可能です。もし間違った使い方をした場合、弊社はサポートできません。

6.2　TelNetについて

当章は通常のユーザには不要です。
必要性を感じた方、ネットワーク管理を業務としている方がお読み下さい。

XIN/XOUT-BOXは、電源SWのみで動作するように作りました。しかし実際には内部にてLinux（フリーウェアのOS）が動作しています。

TelNetは、Linux（およびunix）にリモートアクセスするソフトウェアです。
TelNetよりBOXにアクセスするとBOXは完全なLinuxマシンとして制御できるようになります。

TelNetを使い、BOXに接続する時の設定を記載します。
以後記載する情報は、Linuxと TelNetの操作に精通していることを前提とします。

■ TelNet用接続ID/パスワード

特権用	ID: root	パスワード: jugemu1
db管理用	ID: postgres	パスワード: jugemu1

■ XIN/XOUT-BOXの IPアドレス

IPアドレスは、次のファイルで設定しています。これを変更し、BOXを再起動するとIPが変わります。

/etc/hosts
/etc/sysconfig/network-scripts/ifcfg-eth0

■ XIN/XOUT-BOXの内部構成

BOXに装備しているハードディスクは全てがWin,Macから見えるわけではありません。制御システムが上書きおきないようにユーザ領域に展開しています。

ここでは、BOX の中の領域マップを案内します。

```
/   --+-   root           root 権限用の領域
      +-   tmp            一時的利用領域
      +-   var            「x-unit」の OS(linux)の各種作業領域
      +-   etc            linux を構成する各種ソフトの設定領域
      +-   mnt            linux に設置しているディスク装置の管理領域
      ¦       +-- hdb      X60 モデルの第２ドライブ
      ¦                     ※ X30 にはないので注意。
      +-   usr
             +-- src     「x-unit」を構成するオープンソース
             ¦               のプログラム環境を格納
             +-- somewhere
                    +-- else       Win,Mac より見ることのできる領域
```

上述のとうり、Win と Mac から見ているディスクは実は、マップ中「else」という名前のついたフォルダ（ディレクトリ）である事がわかります。

第７章

Appendix

7.1　FAQ

Q１　　使っているうちにディスクの空き容量が少なくなってしまった。ファイルを全部削除したが思うように増えない。何故か？

Win,Mac混在環境で使用すると良くあります。Macで作ったファイルをWinで削除すると発生します。Macのファイルには Mac専用の隠れファイルができます。Winでファイルを消すと隠れファイルがゴミとして残ってしまうためです。

*

解決方法は、WinでBOXにアクセスする時に、x-unit.Systemを選んでください。この時、Mac用隠れファイルも画面に出ます。このファイルを削除すれば空きが回復します。
ただし、この隠れファイルMacのファイルの一部ですので不用意に消すと障害が出ます。BOX内のデータを全削除して構わない時にこの機能を利用下さい。

お問い合わせ先
E-MAIL 宛先　support@dnki.co.jp
TEL:03-5449-7057
（受付時間：平日10:00～17:00）
FAX:03-3447-2775

お問い合わせは、なるべくホームページのテクニカルサポートをご利用下さい。
担当者不在により、お返事が遅れる場合がありますので、あらかじめご了承下さい。

XIN/XOUT BOX 取扱説明書

平成 13 年 1 月 26 日　第 1 版